

## 工事書類最適化の試行（営繕工事編）について

### 1. 適用

令和7年4月1日以降の仙台市単価により予定価格を算出する工事等

### 2. 工事書類の最適化

別添の「事前協議チェックシート」及び「工事書類最適化一覧表（営繕工事編）」に基づき実施する。なお、工事情報共有システムの使用の有無に関わらず、工事で提出する書類、書類の提出方法、検査・納品方法について事前協議すること。

#### (1) 提出書類の明確化

##### 1) (条件付きで) 省略・簡略化が可能となる書類

- ・ 施工計画書（各工種の工事量が少量の場合は、複数の工種をまとめて作成可能）
- ・ 施工管理技術者の資格等の能力を証明する資料
- ・ 技能士及び技能資格者の資格等を証明する資料
- ・ 電気保安技術者の資格等を証明する資料
- ・ 工事用電力設備の保安責任者の報告資料
- ・ 短期工程表
- ・ 工事材料の搬入報告
- ・ 材料検査願
- ・ 確認・立会請求書
- ・ 施工体制台帳
- ・ 建設業退職金共済組合制度に関する報告資料

##### 2) 提示のみを求める書類

- ・ 産業廃棄物管理票（マニフェスト）

※上記書類は、完成検査において提出は求めないが施工過程の確認をするために提示を求める書類である

#### (2) 工事書類の電子化

- 1) 工事情報共有システムの利用を標準とし、利用に必要な通信環境等が確保できない場合や、緊急の場合等で利用することが不相当である場合を除いて、「営繕工事における工事情報共有システムの活用ガイドライン」に基づき実施するものとする。

### 3. 工事書類最適化ガイドブック（営繕工事編）

本ガイドブックは工事書類の最適化に関する「見える化」を目的に発行している。受発注者におかれては、一覧表及びガイドブックを参考に協議を行うものとし、受注者は作成工事書類の取扱等について施工計画書へ記載するものとする。なお、工事写真について、紙媒体だけでなく電子媒体での提出を認めるものとする。